

2022年5月18日～20日に函館水産試験場試験調査船「金星丸」で噴火湾環境調査を実施しました。噴火湾周辺海域の水温・塩分・流向流速の観測結果についてお知らせします。
(函館水産試験場のHPからもご覧頂けます <http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/hakodate/>)

【水温の鉛直分布】

噴火湾内、湾外の20m深までの水温は概ね5～10℃台で、平年よりも1～3℃ほど高くなっています。湾内の中層（概ね20～60m）は平年並みか平年より1～2℃ほど低く、底層は平年並みとなっています。また、湾外の20m以深は平年並みとなっています。

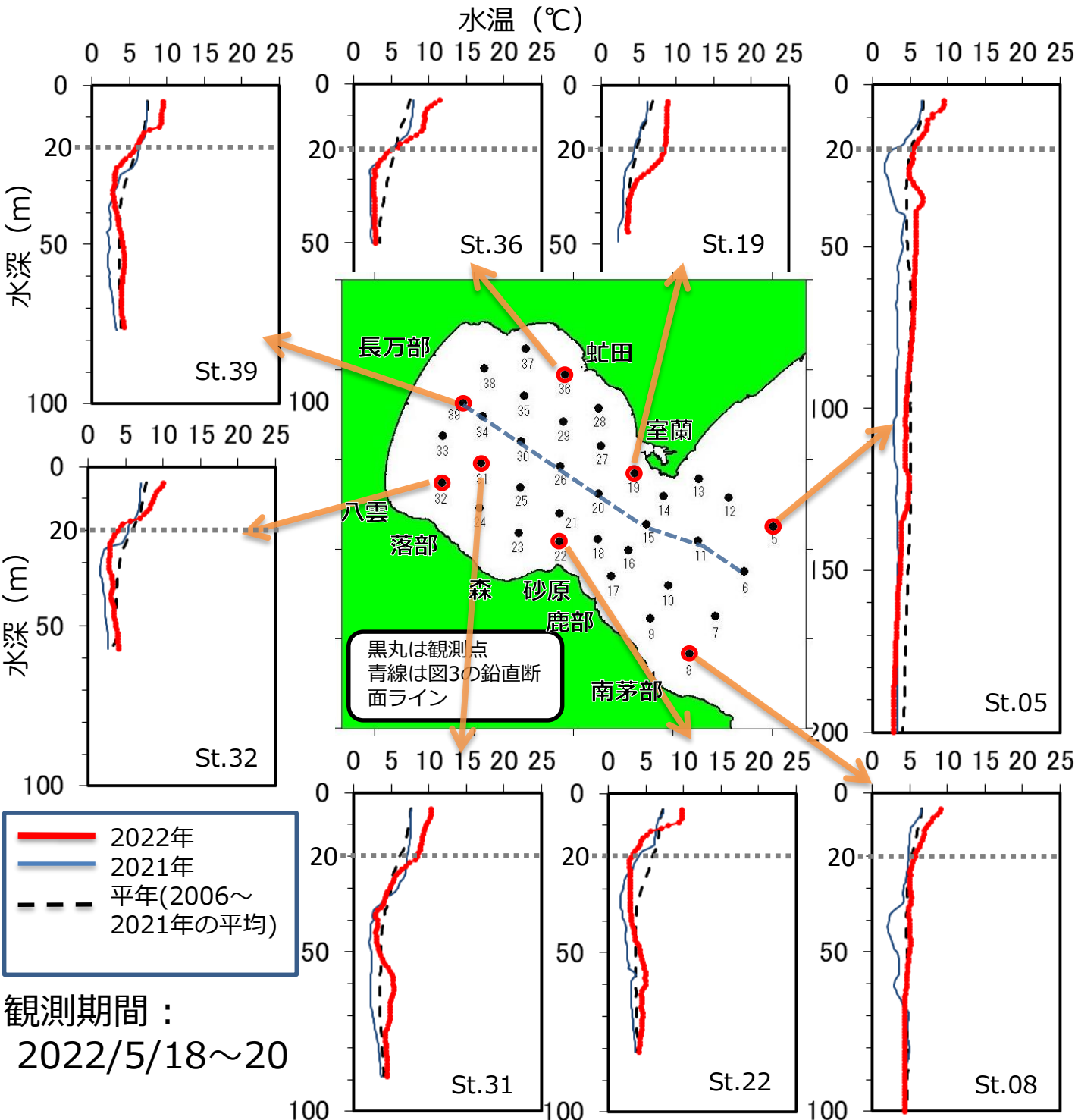


図1 噴火湾各地先の水温の鉛直分布

【水平分布：水温、塩分、流向流速】

湾内の深度10mの水温は9℃以上で湾外よりも高くなっています (A)。深度30mでは、湾中央部の水温は周囲よりも高くなっていました (B)。これは時計回りの渦の形成により (C)，暖かい表層水が湾中央部に集められたためと考えられます。また、深度30mの塩分は湾外よりも湾内で低くなっていました (D)。

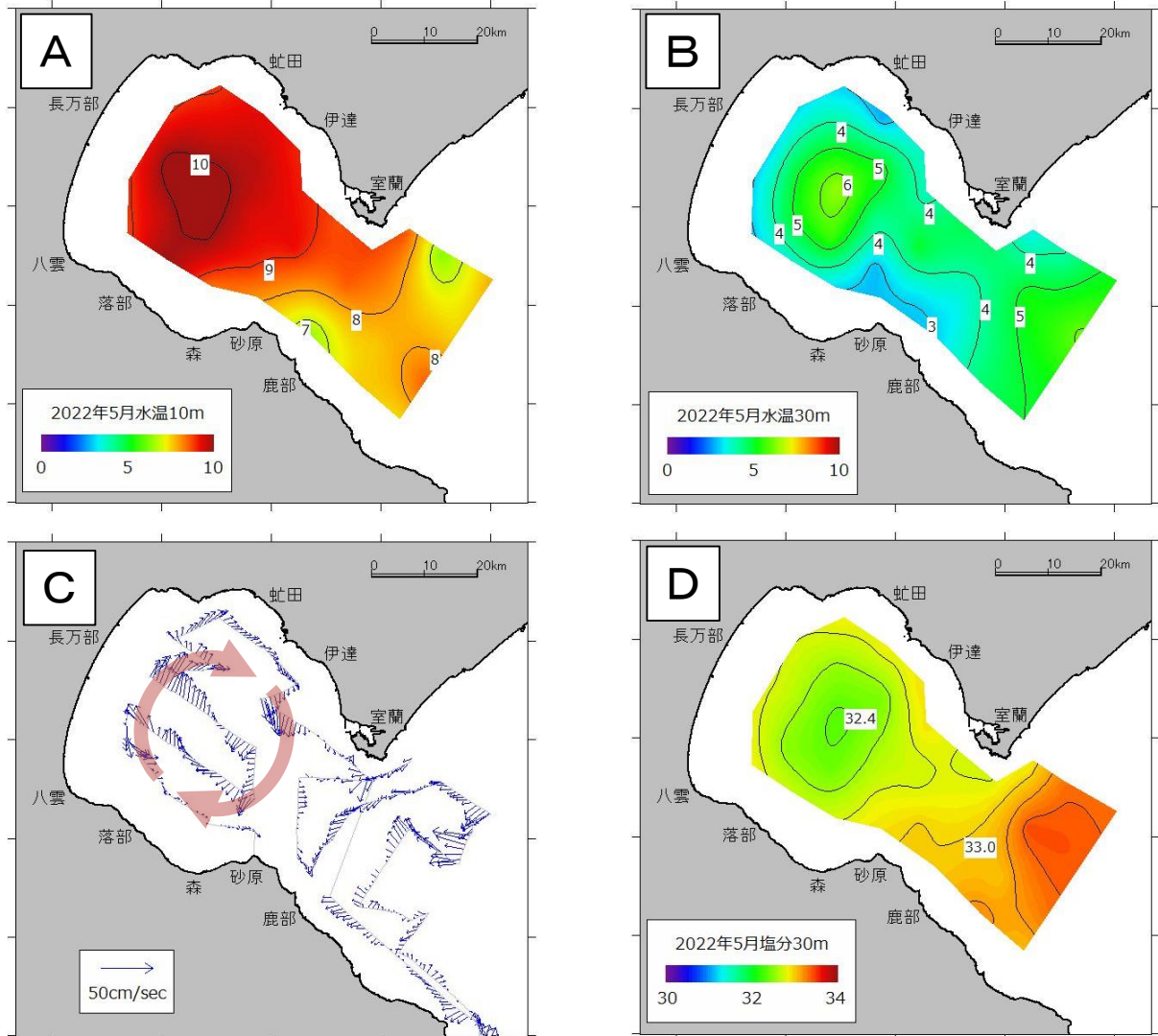


図2 A:水温 (深度10m) , B:水温 (深度30m) , C:流向流速 (深度13m) , D:塩分 (深度30m)

【水温、塩分の鉛直断面分布】

湾内の30m以浅には、河川水の影響を受けた高温低塩分水 (水温6℃以上、塩分32.4以下) が広がっています。また、湾外の深度40m以深には津軽暖流水 (水温6℃以上、塩分33.6以上) が分布しています。

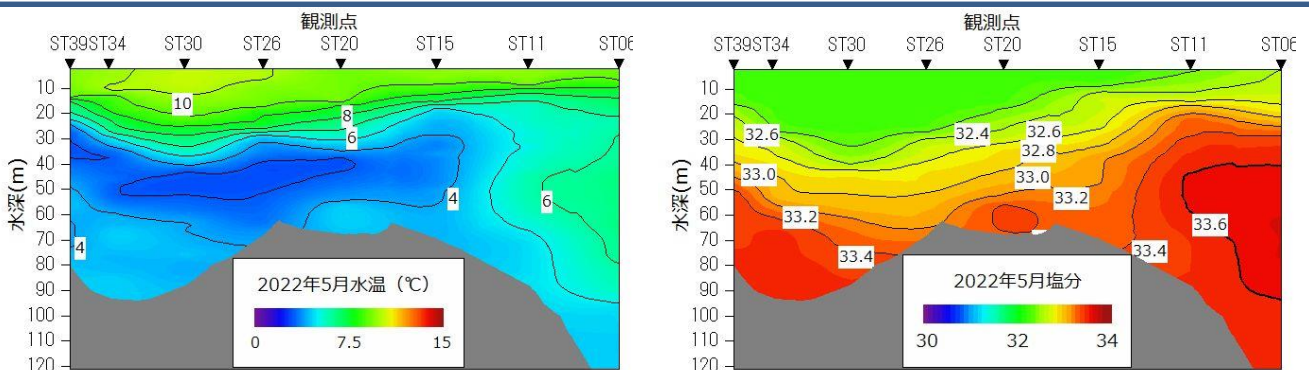


図3 水温・塩分の鉛直断面図 (断面の位置は図1参照)